

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社アスラポート・ダイニング 上場取引所 東  
 コード番号 3069 URL http://asrapport-dining.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 将典  
 問合せ先責任者 (役職名) 法務総務部長 (氏名) 尾崎 富彦 (TEL) 03-6311-8892  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	20,123	15.7	484	△18.7	413	△10.2	402	64.7
29年3月期第2四半期	17,385	111.4	595	103.8	459	76.7	244	2.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 332百万円(—%) 29年3月期第2四半期 22百万円(△92.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	13.31	13.30
29年3月期第2四半期	8.52	8.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	31,454	8,530	26.1
29年3月期	27,722	7,715	26.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 8,215百万円 29年3月期 7,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	10.4	1,200	11.2	1,070	16.0	800	51.8	25.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	30,896,729株	29年3月期	29,890,439株
30年3月期2Q	2,400株	29年3月期	2,400株
30年3月期2Q	30,223,469株	29年3月期2Q	28,639,102株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の輸出、生産が順調に拡大するなかで、緩やかな景気回復基調が続きましたが、米国や欧州などの先進国における保護主義的な動きや、地政学リスクの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。外食及び食品生産業界におきましては、消費者の節約志向の根強さや、原材料の価格上昇及び人件費及び物流関連コストの上昇による利益の圧迫などにより、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化」の各課題へ積極的に取り組み、当社グループの事業規模の拡充に努めてまいりました。当第2四半期連結累計期間の当社グループの取り組みは、次のとおりであります。

「既存ブランドの競争力強化と成長」におきましては、当第2四半期末の店舗数は778店舗（前年同四半期比で107店舗増）となりました。子会社化した業態の店舗数の増加に加え、メキシカンファストフード業態「Taco Bell」が、大阪初出店となる道頓堀店を9月にオープンし、12月には神保町店をオープンすることを決定しております。また、既存ブランドの「牛角」7店舗なども増加要因となっております。

「ブランド・ポートフォリオの多様化」におきましては、前期11月に子会社化した株式会社ドリームコーポレーションのベーカリー業態「ベーグル&ベーグル」など43店舗、8月に子会社化した株式会社モミアンドトイ・エンターテイメントのクレープ業態「MOMI&TOY'S」など65店舗が、当社グループに新たに加わっております。また、8月には、首都圏を中心に高級ステーキハウス「37 Steakhouse&Bar」などを展開する株式会社スティルフーズの監修のもとで立ち上げたステーキ業態「リアルステーキ」の2号店を8月にオープンしております。

「海外市場への進出」におきましては、英国及びEU圏の販売・流通事業を統括するAtariya Foods Limitedの下、グループ内外で事業再編を行っております。英国のみならずフランス、ドイツ、オランダのユーロ圏の流通ネットワークの構築を進め、英国では寿司デリバリー業態への参入を行うなど、欧州においても「食のバリューチェーンを構築する」体制整備と拡充を行っております。

「食品生産事業と六次産業化」におきましては、株式会社弘乳舎が、全国の「牛角」ブランド店へのPBアイスクリームの提供をはじめ、グループ外企業のPB商品の開発・販売も積極的に展開しております。九州乳業株式会社は、ヨーグルトや豆乳を中心とした製品開発を続けており、販路をディスカウントストア等にも拡大することで、着実に収益基盤の拡充を進めております。茨城乳業株式会社と九州乳業株式会社において、共同生産販売体制を構築し、全国規模の事業エリアの拡大を進めております。

なお、資本業務提携先であるジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社とは、国内市場でのPB食品やオリジナル商品の共同開発や、海外市場での輸出入業務や現地での事業展開における協業などさらに関係性を深めるため、平成29年3月に12億円の無担保転換社債型新株予約権付社債の引受に続き、8月には20億円の第三者割当増資の引受を行い、当社の持分法適用関連会社となりました。

また、平成30年3月期の1株当たりの配当予想については、当社の業績が順調に推移しており、経営体質の強化と将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な収益基盤が確立されたと判断できることから、株主の皆様へ公平かつ積極的な利益還元をするため、1株当たり4円の予定としております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,123百万円（前年同四半期比15.7%増）、営業利益は484百万円（前年同四半期比18.7%減）、経常利益は413百万円（前年同四半期比10.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は402百万円（前年同四半期比64.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①販売

当第2四半期末における当社グループの店舗数は前述の通り778店舗となりました。内訳は直営店130店舗（前年同四半期比58店舗の増加）、フランチャイズ店648店舗（前年同四半期比49店舗の増加）となります。

「MOMI&TOY'S」65店舗、「ベーグル&ベーグル」など43店舗、「牛角」7店舗を含め、合計130店舗が増加した一方、焼鳥ブランド「とりでん」9店舗など、合計23店舗が減少いたしました。前述のとおり、子会社化した2社の売上が寄与したことや、主要販売4社が統合して発足した株式会社アスラポートが運営する焼肉業態「牛角」事業やラーメン業態「どさん子」事業、並びにクレープ業態「MOMI&TOY'S」が収益に貢献したこと、更に「Taco Bell」事業の原価率改善による費用が減少した結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,800百万円

(前年同四半期比34.4%増)、営業利益は412百万円(同8.8%増)となりました。

②流通

当社グループの流通事業部門は海外子会社9社により構成されております。英国T&S Enterprises (London) Limited及び米国Pacific Paradise Foods, Inc.、前期子会社化したオランダ2社(Atariya Foods Netherland B.V.及びAtariya Horeca B.V.)の売上は堅調に推移いたしました。仕入価格の高騰や為替、流通コストの増加などの影響により、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,218百万円(前年同四半期比25.9%増)、営業利益は58百万円(同21.0%減)となりました。

③生産

当社グループの生産事業部門は、乳製品製造加工を行う3社及び肉用・乳用仔牛の肥育を行う株式会社TOMONIゆめ牧舎の計4社により構成されております。九州乳業株式会社は、売上については前年同期比では増加しましたが、7月から8月にかけて発生した生乳不足による減産により予想を下回りました。また、製造費用については、配送コストと今後の生産性向上の為に修繕を含む設備投資及び人員体制の整備を図った影響により増加したため、減益となりました。株式会社弘乳舎は、脱脂粉乳やバターなど乳製品の大口販売と輸入食品原材料の販売が増加いたしました。利益率の高い余乳処理事業が減少したことや、株式会社TOMONIゆめ牧舎の設備投資に伴う償却負担増などの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,083百万円(前年同四半期比2.8%増)、営業利益は266百万円(同29.4%減)となりました。

④その他

その他事業の内容といたしましては、店舗開発事業等による売上があり、当第2四半期連結累計期間における売上高は21百万円(前年同四半期比30.3%増)、営業利益は19百万円(同21.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は31,454百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,732百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が906百万円、投資有価証券が1,912百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、22,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2,918百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が2,330百万円増加したことによるものであります。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益402百万円の計上等により、前連結会計年度末と比べ814百万円増加し、8,530百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示をしております「平成30年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,305,971	7,212,256
受取手形及び売掛金	3,840,460	4,406,452
商品及び製品	1,154,067	1,030,074
仕掛品	23,366	37,812
原材料及び貯蔵品	368,514	363,365
その他	1,726,703	1,796,156
貸倒引当金	△76,747	△100,602
流動資産合計	13,342,335	14,745,515
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,074,486	3,074,486
その他(純額)	3,422,481	3,611,433
有形固定資産合計	6,496,967	6,685,919
無形固定資産		
のれん	3,709,525	3,952,677
その他	104,630	85,749
無形固定資産合計	3,814,156	4,038,427
投資その他の資産		
投資有価証券	2,669,367	4,581,844
その他	1,399,434	1,403,185
投資その他の資産合計	4,068,802	5,985,030
固定資産合計	14,379,926	16,709,376
資産合計	27,722,261	31,454,891

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,754,801	2,996,756
短期借入金	3,063,880	5,394,699
1年内返済予定の長期借入金	3,305,634	3,463,977
未払法人税等	155,738	84,476
賞与引当金	24,824	29,594
店舗閉鎖損失引当金	—	1,888
その他	2,173,157	2,191,585
流動負債合計	11,478,037	14,162,979
固定負債		
長期借入金	6,123,300	6,242,327
債務保証損失引当金	68,176	66,456
退職給付に係る負債	408,938	369,968
資産除去債務	267,146	312,216
その他	1,660,718	1,770,791
固定負債合計	8,528,279	8,761,758
負債合計	20,006,316	22,924,738
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,910,363	2,910,363
資本剰余金	2,881,267	3,378,740
利益剰余金	1,751,314	2,172,947
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	7,541,517	8,460,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,440	△9,962
為替換算調整勘定	△233,444	△235,139
その他の包括利益累計額合計	△170,004	△245,102
新株予約権	6,680	6,680
非支配株主持分	337,751	307,953
純資産合計	7,715,945	8,530,153
負債純資産合計	27,722,261	31,454,891

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	17,385,631	20,123,200
売上原価	12,461,361	14,016,533
売上総利益	4,924,270	6,106,667
販売費及び一般管理費	4,328,597	5,622,171
営業利益	595,672	484,496
営業外収益		
受取利息	18,058	13,653
受取配当金	9	1,445
為替差益	—	15,610
その他	29,915	37,464
営業外収益合計	47,982	68,173
営業外費用		
支払利息	63,830	67,138
支払手数料	29,737	59,788
為替差損	38,725	—
持分法による投資損失	11,215	5,524
その他	40,147	7,089
営業外費用合計	183,656	139,540
経常利益	459,999	413,130
特別利益		
固定資産売却益	4,915	2,438
負ののれん発生益	66,465	—
出資金返還益	—	30,000
資産除去債務戻入額	23,742	—
その他	14,132	16,678
特別利益合計	109,256	49,116
特別損失		
固定資産売却損	3,129	0
固定資産除却損	7,981	9,401
店舗閉鎖損失	—	18,178
災害による損失	13,828	23,596
その他	11,127	6,720
特別損失合計	36,067	57,896
税金等調整前四半期純利益	533,188	404,350
法人税、住民税及び事業税	202,361	88,325
法人税等調整額	69,690	△91,359
法人税等合計	272,052	△3,033
四半期純利益	261,136	407,383
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,012	5,211
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,123	402,172



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	261,136	407,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,783	△73,372
為替換算調整勘定	△255,134	△1,694
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,015	△31
その他の包括利益合計	△238,367	△75,098
四半期包括利益	22,768	332,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,756	327,074
非支配株主に係る四半期包括利益	17,012	5,211

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年8月1日付で株式会社モミアンドトイ・エンターテイメントとの間で、当社を株式交換完全親会社、株式会社モミアンドトイ・エンターテイメントを株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本準備金が462,893千円増加し、3,073,257千円となっております。